

倫理 研究課題 <青年期04>

教科書：p ~ 資料集：p ~ ノートp ~

●エリクソン（20世紀・アメリカ・心理学者）

青年期＝モラトリアム期間 （モラトリアム＝もとは金融用語で「支払い猶予」の意味）

＝社会的責任を果たすことを一時期だけ猶予（免除・延期）されている期間

＝自分の（職業など）生き方について、役割実験（試行錯誤と修行）をする期間

人生に8の発達段階ありそれぞれ達成すべき課題 （ハヴィガーストも同旨）

（例）乳児期：基本的信頼（青年期に自分自身に対する信頼感を培う基礎になる）

＝生後すぐに身近で世話をしてくれる家族に対する信頼感

（例）青年期：アイデンティティ identity（自我同一性）の確立

＝自分の生き方を確実に把握する（identifyする）こと

＝自分の生き方について自分自身が確信（納得）していること

※エマソン「汝の馬車を星につなげ」 ※「使命感」

＝①時間的連続性、②社会的役割期待の肯定、③他者からの承認

※失敗：アイデンティティ拡散の危機

- ┌ 自分の欠点ばかり気になって前進できない（自意識過剰）
- ├ 対等な人間関係が結べない
- └ 選択の回避（自分の生き方について決断を先延ばしする）

※小此木啓吾は「モラトリアム人間」と表現（人生の決断を回避し無為に過ごす）

（例）ニート、「青い鳥症候群」、「ピーターパン・シンドローム」

Not in Education, Employment, or Training

★「自我の目覚め」と「アイデンティティの確立」は、どう違うのだろうか？

.....

.....

.....

.....